

企画展のご案内



「清流の国ぎふ」文化祭2024

2024年9月27日(金) - 12月8日(日)

前期展示 11月4日(月)まで、後期展示 11月6日(水)から

山本芳翠《清家堤下之歩時》(部分) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

展覧会名	「清流の国ぎふ」文化祭2024 皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE:山本芳翠 - 多彩なるヴィジュアル・イメージ -
会場	岐阜県美術館 展示室1・2(岐阜市宇佐 4-1-22)
会期	令和6年9月27日(金) - 令和6年12月8日(日) 午前10時 - 午後6時 ※休館日:毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日) ※夜間開館:令和6年10月18日(金)、11月15日(金)は午後8時まで ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料金	一般 1,200(1,100)円 大学生 1,000(900)円 高校生以下無料()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料 山本芳翠展/オディロン・ルドン展共通券 一般 2,000円 大学生 1,600円 ※共通券は団体割引なし
主催	岐阜県美術館、文化庁
共催	岐阜新聞社、岐阜放送、中日新聞社
特別協力	皇居三の丸尚蔵館、東京国立博物館、文化財活用センター、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
協力	東京藝術大学、山本芳翠顕彰会、日本航空、日本通運
後援	在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、恵那市、朝日新聞社、NHK 岐阜放送局、日本経済新聞社岐阜支局

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1313(代表) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>広報担当:後藤正行
担当学芸員:廣江泰孝県美術館
Webサイト

美術館の情報を発信しています



Facebook



Instagram



X

E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本展覧会について

19世紀後半から20世紀初頭にかけてフランスと日本を舞台に活躍した岐阜県出身の画家山本芳翠(1850-1906)を紹介する展覧会を開催します。本展覧会は、国立博物館収蔵品貸与促進事業の活用とともに、多くの山本芳翠の作品を収蔵する皇居三の丸尚蔵館の特別協力のもと、文化庁との主催により行います。フランスでジャン＝レオン・ジェロームに学び本格的な油彩画技法を習得した山本芳翠の、人々を夢中にさせた物語る絵画の世界を紹介します。約30年ぶりの大回顧展として、国内外各所蔵者の協力により、初期から晩年までの代表作が一堂に会します。



《浦島》【旧登録美術品】岐阜県美術館

山本芳翠(Hosui Yamamoto,1850-1906)

現在の岐阜県恵那市に生まれる。画家を志し、京都で南画を学んだ後、横浜で五姓田^{ごせだ ほうりゅう}芳柳の五姓田派に入門する。工部美術学校第1期生としてアントニオ・フォンタネージに学び、1878年パリ万国博覧会事務局雇として渡仏、その後同地に約10年間滞在し画家として活動する。またジャン＝レオン・ジェロームに師事する。帰国後は開設した生巧館^{せいこうかん}画学校における後進育成や、明治美術会や白馬会の創設に関わる一方で、伊藤博文らと沖縄(琉球)や日清・日露戦争において巡視・従軍画家として関与した。さらに新聞挿絵や日本で初めてのオペラ舞台装飾に携わる等、西洋の油彩画技術を社会の様々な場面で利用し、幅広い活動を行った。1906年東京で没。近年滞仏期の油彩画《裸婦》が重要文化財に指定された。



《自画像》東京藝術大学

展覧会の見どころ

①約30年ぶりとなる大回顧展

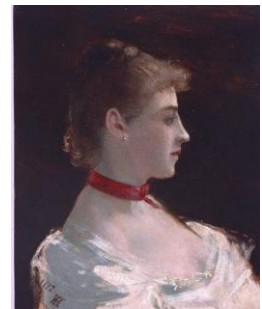
1993年の山本芳翠展以来、約30年ぶりの大回顧展として、初期から晩年までの画業全体を紹介する展覧会として開催します。油彩画、版画、素描、日本画、背景画等、さまざまなジャンルを舞台に活動したみせた山本芳翠の多彩な表現をご覧ください。



《裸婦》岐阜県美術館【重要文化財】

②総点数約200点。代表作が一挙集結

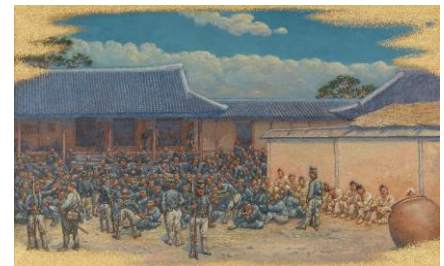
重要文化財《裸婦》や旧登録美術品《浦島》、《西洋婦人像》、《自画像》など、山本芳翠と言えばこの作品、という主要作品が目白押しです。特に現存する《十二支》連作全展示は必見です。



《西洋婦人像》東京藝術大学

③皇居三の丸尚蔵館収蔵の山本芳翠作品が一堂に会す初めての機会

国民文化祭を契機とする皇居三の丸尚蔵館地方展開事業として、同館の特別協力により、収蔵する山本芳翠作品全35点が揃って展覧会に出品されるのは本展覧会が初めての機会となります。山本芳翠は、明治となり近代国家として成長する日本の姿を、絵画に描くことで天皇に伝えました。画面の中には、実は芳翠自身が隠れていることも。ぜひ会場で探してみてください。



《明治二十七八年戦地記録図》皇居三の丸尚蔵館収蔵

④あの岸田劉生を画家にした作品《天女》など幻の作品を公開

山本芳翠がパリから岸田劉生の父・吟香に贈ったとされ現存する滞欧期最大の作品《天女》。劉生は幼い頃この作品を見て画家を志しました。本展覧会では門外不出とされていた《天女》が展示されます。また今回、皇室に納められた「琉球連作」のうち、下賜された後行方不明となっていた作品1点が新たに発見されました。

本展覧会では、現・宮内庁、皇居三の丸尚蔵館、岐阜県美術館が収蔵する作品とともに、発見された作品が並び、琉球連作絵画の全貌を見ることが出来ます。



《無人島から沖縄をのぞむ》個人蔵

⑤山本芳翠ゆかりの画家の名品も併せて展示

本展覧会では、山本芳翠と同時期にヨーロッパに留学していた原田直次郎や、美の制度化を託した黒田清輝、生巧館の弟子である北蓮蔵や藤島武二らによる、山本芳翠ゆかりの作品をあわせて紹介します。



原田直次郎《靴屋の親爺》東京藝術大学【重要文化財】

■ 関連プログラム

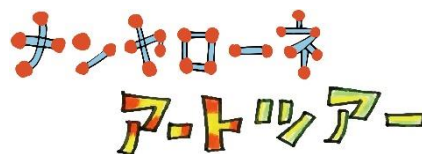
■ ナンヤローネ アートツアー

日時:2024年10月13日(日)14:00-15:30

会場:岐阜県美術館 多目的ホール、展示室1・2

備考:要事前申込み 要観覧券

詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。



■ ギャラリートーク

日時:2024年10月18日(金) 18:00-18:45

会場:岐阜県美術館 展示室1・2

担当:廣江 泰孝(岐阜県美術館学芸員)

■ 記念講演会「山本芳翠とフランス」

日時:2024年10月20日(日) 14:00-15:30

会場:岐阜県美術館 講堂

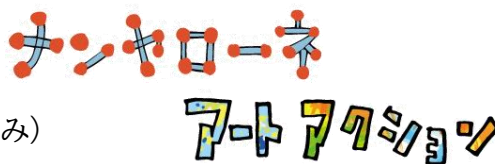
講師:三浦 篤氏(山本芳翠展監修者、大原美術館 館長、東京大学 名誉教授)

■ ナンヤローネ アートアクション

日時:2024年11月3日(日)10:00-15:30

(12:00-13:00 昼休み)

会場:岐阜県美術館 多目的ホール、展示室1・2



■ 記念講演会「山本芳翠と皇室、宮内省」

日時:2024年11月10日(日) 15:00-16:30

会場:岐阜県美術館 講堂

講師:田中 純一郎氏(皇居三の丸尚蔵館研究員)

■ 美術講座「山本芳翠とその時代」

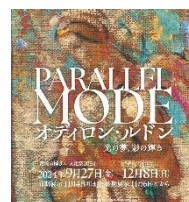
日時:2024年12月8日(日) 15:00-16:00

会場:岐阜県美術館 講堂

担当:廣江 泰孝(岐阜県美術館学芸員)

■ 同時開催

- ◆ PARALLEL MODE:オディロン・ルドン –光の夢、影の輝き–
2024年9月27日(金)- 12月8日(日)



- ◆ アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」
2024年9月27日(金)- 12月8日(日)



岐阜県美術館 企画展

皇居三の丸尚蔵館特別協力

PARALLEL
MODE 山本芳翠
多彩なるヴィジュアル・イメージ

広報画像貸出申込書

FAX 送信番号:058-271-1315



貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名:)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送(月号)/発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

 はい 画像データ到着希望日(月 日) いいえ(写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

☑	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	山本芳翠《浦島》1893年-95年 岐阜県美術館【旧登録美術品】
<input type="checkbox"/>	②	山本芳翠《自画像》1892年 東京藝術大学
<input type="checkbox"/>	③	山本芳翠《裸婦》1880年頃 岐阜県美術館【重要文化財】
<input type="checkbox"/>	④	山本芳翠《唐家屯月下之歩哨》1906年 皇居三の丸尚蔵館収蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	山本芳翠《琉球中城之東門》1888年 皇居三の丸尚蔵館収蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	山本芳翠《西洋婦人像》1882年 東京藝術大学
<input type="checkbox"/>	⑦	山本芳翠《磐梯山破裂之図》1888年 皇居三の丸尚蔵館収蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	山本芳翠《明治二十七八年戦地記録図》1894年-95年 皇居三の丸尚蔵館収蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	山本芳翠《ヴィクトル・ユゴー葬送の図》1885年 ヴィクトル・ユゴー記念館
<input type="checkbox"/>	⑩	山本芳翠《猛虎一声》1895年 東京藝術大学

■ 広報画像一覧

①



②



③



④



⑤



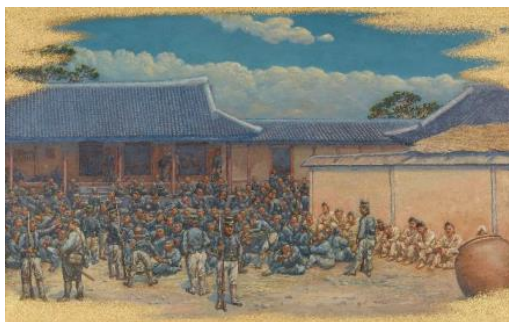
⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。